

# 筑波大学周辺におけるファーストフードレストランの空間分布と学生利用率の 関連性について

周宇放（地球環境専攻）

## 1. 研究目的

本研究では、筑波大学周辺におけるファーストフードレストランの経営時間と空間分布に着目し、ファーストフードレストランの空間特徴を明らかにし、空間分布と学生利用率の関連性について考察する。

## 2. 調査地域

筑波大学周辺の天久保、春日、吾妻1丁目、妻木、桜1、2丁目にあたる地域である。

## 3. 研究対象

ファーストフードとは、短時間で調理、あるいは注文してからすぐ食べられる手軽な食品と食事のことである。今回は、調理時間が短く、値段が安く、パート・アルバイトの雇用が多いという特徴を持っている店が研究対象に当たる。

## 4. 調査方法

調査地域のファーストフードレストランの経緯度を調べ地図化した。その後、これらの

店の外観を観察したり、店員に聞き取り調査をしたりした。レストランの種類と営業時間、学生の来店数などの情報を記録した。

## 5. 結果・考察

研究地域内で14軒の店を調査した。店は図1のように、吾妻1丁目、つまりつくばセンター、桜地区、春日地区、天久保地区に平均に分布している。聞き取り調査によると、学生はよく桜地区（筑波キャンパスの研究棟に近い）と春日地区（筑波大学医学部、筑波技術大学に近い）の店に行く。これら店の調査によると、学生客は店の来店客の半分以上の時間がある。店の種類の違いによって、滞在時間の長さが違うことが明らかである（表1）。いくつかの店に張られた、勉強目的の利用お断わりという張り紙から考えると、学生が勉強目的で店を長時間利用する状況の多いことがわかる。学生はこれら店の利用率が高いことがわかった。

表1 各店における学生客率と滞在時間

店名	KFC	ロッテリア	デニーズ	BigBoy	ステーキガスト	松屋	オリーブの丘
所在地	吾妻	吾妻	春日	天久保	桜	春日	春日
学生客率	夕方多い	少ない	三分の一	半々	8割	半分以上	8割
滞在時間	—	—	1-3H	1H	1H	短い	長い

（聞き取り調査による作成）

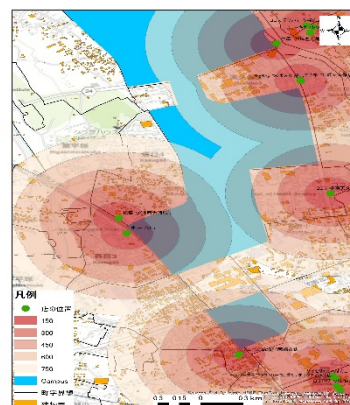


図1 店の分布と学校との距離